

## 目標 1 社会で生きる力の育成

### 施策項目 1 学力の向上



#### ■現状と課題

- 学力向上には、誰一人取り残すことのない教育活動の充実に向けた一層の取組が大切です。そのためには、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、望ましい生活習慣の確立に向けた取組、認定こども園、小・中・高等学校における連携・協働を強化し校種間の学びの連続性を踏まえた検証改善サイクルをより確かなものとしていくことが求められています。
- これからの学校は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力をバランスよく育成する場です。
- 本町においては、基礎的・基本的な知識や技能の習得、学習習慣の定着に課題が見られ、指導の個別化、学習の個性化を図る必要があります。

#### ■施策の方向性

- 認定こども園から小・中・高等学校までの一貫した教育を推進し、確かな学力を高めます。
- 次世代を担う社会の宝である子どもたちの健やかな成長と学力を伸ばす体制づくりを進めます。
- 調和の取れた教育活動の推進により、社会で生きる力の育成を目指します。

目 標 指 標	基準年度 (R 2)	目標年度 (R 8)
全国学力・学習状況調査の平均正答率	—	平均正答率全国以上
全国学力・学習状況調査において、「家で計画を立てて勉強している」「どちらかといえば、している」と回答した児童生徒の割合	小 : 75.6% 中 : 83.8%	100%

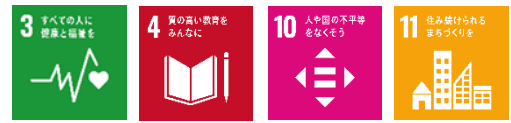
#### ■施策の展開

- 「主体的・対話的で深い学び」による授業改善  
認定こども園から小・中・高等学校までの一貫した教育により、主体的・対話的で深い学びを実現した「わかる授業」と「充実した家庭学習」の連携した取組をマネジメントし、確かな学力を高めます。  
個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、ICT等を活用しながら、3つの資質・能力をバランスよく育成する中で学力向上を目指します。
- 学級編成の弾力化  
小学校全学年で30人学級を推進し、学習効率を高めて授業改善を図ります。
- SDGsを踏まえたESD\*の取組の推進  
ESDの視点を取り入れた、持続可能な特色ある教育活動を推進し、資質・能力の育成を図ります。
- 望ましい生活習慣の確立  
規則正しい生活習慣の確立を図ることにより、家庭学習の定着や家庭における自己肯定感の育成に向けた取組を推進します。

\*ESD…「Education for Sustainable Development=持続可能な開発のための教育」のこと。持続可能な社会の作り手を育む教育。

## 目標 1 社会で生きる力の育成

### 施策項目 2 特別支援教育の充実



#### ■現状と課題

- 本町では、障がいの有無に関わらず特別な配慮が必要なすべての児童生徒へ支援を行っています。そのため、学校全体で特別支援教育の専門性の向上を図るとともに、幼児期から18歳までの切れ目のない一貫した指導や支援を行う必要があります。
- 発達面、情緒面に起因した困り感を抱える児童生徒、不登校や登校渋りの児童生徒が増加傾向にあります。そのため、特に思春期の児童生徒やその保護者が悩みや不安を相談できる体制の充実が求められています。

#### ■施策の方向性

- 幼児期から18歳までの切れ目のない一貫した指導を支援するとともに、児童生徒への様々な学びの機会を保障し、個別最適化された教育的支援を推進します。
- 学校全体で特別支援教育における専門性の向上と指導体制を充実し、教員一人ひとりの資質の向上を図ります。
- 子ども発達支援センターによる学校訪問事業等を通し、児童生徒、教員との交流に努め、思春期特有の心の問題に対応できる相談体制の充実を目指します。

目 標 指 標	基準年度（R2）	目標年度（R8）
個別の教育指導計画等を進学先への引き継ぎに活用	100%	維持

#### ■施策の展開

- 幼児期から18歳までの一貫性のある特別支援教育  
保護者、関係機関、地域の支援者がスムーズな連携及び情報共有を図るため、個別の教育指導計画・支援計画等を、進学先への引き継ぎに活用します。さらに、子ども発達支援センターによる学校訪問等を通し、児童生徒とその保護者を地域で支える支援の充実を図ります。
- 多様化するニーズへの対応  
多様化する児童生徒の教育的ニーズに対応するため、関係機関と保護者、子ども向けの研修会の充実を図ります。
- 児童生徒への心の健康のための支援  
思春期などの物理的、教育的支援だけでは解決できない課題への対応として、教育相談や子ども発達支援センター職員の定期的な学校訪問を実施します。

## 目標 1 社会で生きる力の育成

### 施策項目 3 情報教育の推進とICTの活用



#### ■現状と課題

- AI、IoT、ビッグデータ\*の活用など社会の在り方に影響を及ぼす技術が進展する中、将来の社会生活を見据え、情報活用能力を備えた生きる力を身に付ける必要があります。
- 小・中学校では、GIGAスクール構想により児童生徒に1人1台の端末が整備されています。ICT端末を活用しながら、主体的に情報を選択する力、問題解決する力、新しい時代（国際化・情報化）に対応し生きる力を身につけるための学習指導が求められています。
- インターネットが急速に進展する社会の中で、誹謗中傷やいじめの書き込みといった情報化の影の部分に対応するため、児童生徒の発達段階に応じた継続的な情報モラル教育を行うことが重要となっています。

#### ■施策の方向性

- 児童生徒が主体的に情報社会へ参画し、適切な情報活用能力を身につけられるよう、ICT端末を効果的に活用した情報教育の推進を図ります。
- 教職員のICT機器を活用する能力や指導力向上のための環境整備に努めます。

目標指標	基準年度（R2）	目標年度（R8）
学校における教育の情報化の実態等に関する調査において、「授業中にICTを活用して指導する能力」について「できる」「ややできる」と回答した教員の割合	小：73.1% 中：83.8%	100%

#### ■施策の展開

- 情報活用能力の育成  
日常的にICTを活用し、新しい時代（国際化・情報化）に対応する生きる力を育成するとともにプログラミング的思考を育む教育活動の充実を図ります。
- ICT教育環境の整備・充実  
デジタルドリル等を活用した学力向上の取組、ICT端末を活用した学級活動や集会活動の実施を継続できるよう、計画的な教育環境の整備に努めます。
- 教職員研修の充実  
デジタル教材の活用能力やオンライン学習に対応する能力を向上させることができるよう、教職員の個々の指導力の向上を図るため、デジタルとアナログを効果的に使い分ける優れた授業の実践事例などを活用した研修の充実を図ります。
- 情報モラル教育の充実  
児童生徒の発達段階に応じた情報活用の指導や、保護者への啓発活動に取り組み、情報モラル教育の一層の充実を図ります。

\*ビッグデータ …さまざまな種類や形式のデータを含む巨大なデータ群のこと。

## 目標 1 社会で生きる力の育成

### 施策項目 4 キャリア教育の推進



#### ■現状と課題

- 持続可能な社会において必要とされる資質・能力が大きく変化していく中、子どもたちが自らの力で生き方を選択して、社会の変化に対応できる能力や態度を身に付けることができるよう、キャリア教育の充実が求められています。
- 「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、幅広い年代のより多くの職種の町民の方と目標やビジョンを共有し、連携・協働して子どもたちを育てていくことが大切です。また、将来の生活や社会を見据えた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めることがキャリア教育の視点からも必要です。

#### ■施策の方向性

- 児童生徒が目的意識を持ち、主体的に進路を選択できる能力を育みます。
- 子どもたちが、多様な職業に関心を持ち、働くことの大切さや地域の産業への理解を深め、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく資質・能力の向上を図ります。

目標指標	基準年度（R2）	目標年度（R8）
全国学力・学習状況調査において、「将来の夢や目標を持っている」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小：73.1% 中：83.8%	100%
全国学力・学習状況調査において、「人の役に立つ人間になりたい」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小：95.1% 中：97.3%	100%
中学校における職場体験学習の受け入れ先の数	25	1人1事業所を基本とする受入先

#### ■施策の展開

- 学校におけるキャリア教育の充実  
キャリアパスポートを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、将来に生きる力を育成します。
- かみしほろ学園と地元企業との連携  
かみしほろ学園の連携教育をとおして、働くことの大切さや地域産業への理解を深めるとともに地元企業と連携、協力により、児童生徒が将来、社会人として自立できるよう、望ましい勤労感や職業感を育みます。
- 中高生のボランティア活動の推進  
社会教育における各種事業への参画や自主事業の実施など、様々な立場や世代の人たちと関わる活動をとおし、自ら考え行動する力を育みます。